学校だより 滄浪（そうろう）

子どもの提案

校長　上野　誠

昼休み、外で作業をしている私たちに、何か質問をしにきたり、興味をもった児童二名がやってきました。四年の男の子でした。次のようなことを話しました。

学校玄関の靴箱の奥にあるほこりまみれの傘や、玄関の床がぬれている。

玄関に持ってきた傘は、玄関の方にあるのに、入り口の近くに置いてあるのは、なぜだろう。

学校前の梅田道路で、片付けられた檀ノ浦の人たちが、活動をしている。

校長先生は、「子どもたちが、自分たちの学校を、善くしようと、提案してくれたことは、とても、大切なことだと思います。」

「学校を、善くするために、何をしたらよいか、みんなで、考えてみてください。」

「学校を、善くする、最終目的は、子どもたちが、大人になって、この学校に、通ってよかったと、思える、学校を、つくることです。」

「今年の、二年生は、人数が、少ないので、学年の、組み、替えを、します。」

「学年、組、替えは、現在の、二年生、全員が、学年、末に、学校を、卒業する、ことを、目指して、頑張ってください。」

「